

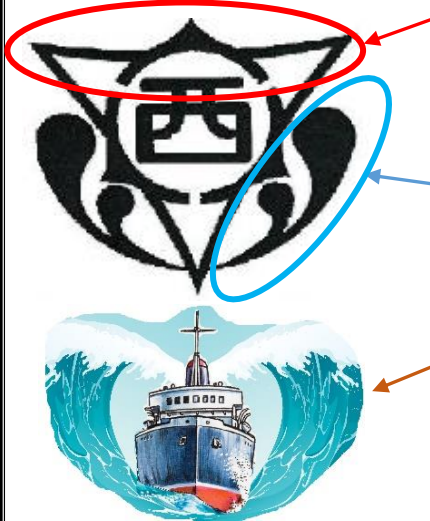


知っていますか？六ツ美の校章の由来

「六ツ美の4つの小学校の校章の図柄が同じなのはなぜですか？インターネットで調べても分かりません。教えてください。」先日、附属小学校の3年生の児童からこのような内容の手紙をもらいました。コロナ禍で様々な教育活動が制限される中、工夫を凝らして学習を進めていることがうかがえます。六ツ美の校章の由来について、昨日、本校の児童にも朝会でお話しました。

【2月1日 全校朝会 校長あいさつ テレビ放送】

岡崎市には「六ツ美」がつく小学校が4つあります。「西部小学校」「北部小学校」「中部小学校」「南部小学校」です。昔、このあたりは、六ツ美村と呼ばれていました。今から113年前の1908年（明治41年）にまず、【中部小学校】【北部小学校】【南部小学校】の3校が同時に開校しました。この校章のデザインには、「3つの小学校が力を合わせて頑張ろう。」という願いが込められています。西部小学校はそれから、89年後の1997年（平成9年）に北部小学校が2つに分かれることで、開校しました。今年で24年目の岡崎市で一番新しい小学校です。校長先生も六ツ美中部小学校の出身です。



3つの「六」を組み合わせることで3校の小学校の団結を意味する。

「波」を表し、海をイメージしている。

全体の図柄からは船が荒波の中を力強く進むという意味もある。



私が1年生のときにつくった作品が、まだ残っていました。

～動物ふれあい体験・いきものとなかよし～

1月25日、1年生の生活科で移動動物園を体育館に設置し、たくさんの動物とふれあいました。新しい発見に子供たちは、興味津々でした。生まれたばかりのヒヨコの温かさ、ヘビのひんやりした感じ、モルモットの心拍の速さ、動物の臭い…全てが生きている証です。「こわい」「くさい」と後ずさりしていた子供も知らず知らずに動物にふれ、その魅力に引き込まれていました。やはり本物はすごい！

